

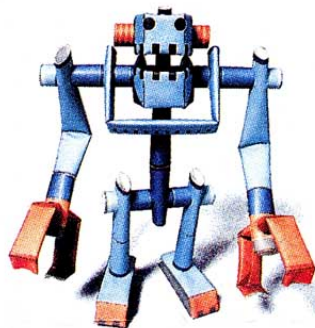
パイプロイド

(コト)

地球侵略者という、キャラクター設定で授けられたミッションと、キュートな見た目との不釣り合い度が、おそらく「ケロロ軍曹」に匹敵するであろうこのロボットは、紙のパイプをハサミで切り、穴に挿して組み合わせただけで完成する。

耐水性の強い「ザクセン」という紙を巻いた直径1号弱、長さ25号のパイプが6本入っているだけの組み立てキットは店頭では、京都にある、たった一つのアートショップでしか販売されていない。しかし雑誌やテレビでしばしば紹介され、そのたびにネット通販に注文が殺到、品切れ状態が続いている。現状の生産態勢が内職の奥さんたち3人による手巻きであるため、月産500セットが限界だからだ。夏ごろには、いよいよ大量生産が始まるらしい。

パイプロイドを買う人たちの男女比は女性が男性の1.5倍。いかにもロボットな造形を排したのは「これ、なんですか？」と尋ねずにはられない「気になる存在感」を醸しだすのに腐心した結果だ。地球侵略者という設定も買った人同士がストーリーを



共有する手がかりにするためで、コミュニケーションの触媒にもなるのだという。

ゲームソフトの企画開発などが本業の製造元のコト（本社・京都市）は、任天堂でゲーム&ウオッチやゲームボーイを手がけた伝説の開発部長、故・横井軍平氏が96年に独立して創業した。「枯れた技術の水平思考」という言い回しで、コストのかからない、ありふれた技術を、意表をつくような発想で活用するよう唱える横井氏の商品開発哲学も受け継がれている。

「余計なものは付け足さない。素材そのもののメリットをとことん追求するのがうちの社風です」。パイプロイドの商品化を担当した角田崇さん(31)はそう語る。

サイトは<http://piperoid.jp/>。全5種で税込み各500円。（保科龍朗）